

「症状」でわかる病気 No.8

「みぞおち」or「腹部全体」の痛み

大上正裕・慶応義塾大学病院消化器外科医師

病気予防は、第一に日常の健康管理、次いで「丹羽SOD様食品」

健康の管理には、病気に関する知識が欠かせません。本シリーズでは、さまざまな症状と病気との関連を掲載し、読者の方が適切な治療の機会を逸することなく、早期の精密検査をするための資料を提供いたします。なお、本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載(医学ジャーナリスト・松井宏夫著)」から主に引用いたしました。

また、食生活や運動などの健康管理だけでは、さまざまな病気を予防できないことも事実です。そこで、病気の90%に関係するといわれる活性酸素対策に、「丹羽SOD様食品」を摂取するの一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No.32



「みぞおちが痛む場合に、もっとも多いのが胃炎・十二指腸潰瘍。

「確かにそうですが、そのほかに胆石症のケースも多いんです。一概に思い込まないようにしてほしいですね」と言うのは、慶応義塾大学病院(東京・新宿区)消化器外科の大上正裕医師

虫垂炎の発症機序と腹部の痛みが生じる位置を説明してください。

Q: 虫垂は内容物が入りしっており、過労や暴飲暴食が続いたときなどに、ウイルス感染が起こり、炎症が起ると考えられているものの、まだはっきりとは分かっていないのが現状である。

そして、虫垂炎イコール右下腹部

痛も、最初は異なる。

「最初は、みぞおちの痛みだったり、腹部中央、へそのあたりの痛みだったり関連痛があります。」そして、次第に右下腹部に

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

目次

「虫垂炎」による痛み

右下腹部痛を起こす病気
左下腹部痛を起こす病気

用語の解説

大腸憩室炎
虚血性腸炎

限局した痛みになる。炎症の程度によって痛みの度合いも違うが、我慢してほっておくと腹膜炎を起こし大変な事態を招くこともあるので、すぐに病院へ。

Q：虫垂炎以外で、右下腹部痛を認める病気は？

A：

盲腸癌による腸重積症

PR会社に勤めるK男さん(58)は、右下腹部痛を訴えて近くの総合病院へ。下部消化管X線造影検査を行う上にも造影剤が入らず、内視鏡も痛みのために届かない。「とりあえず開腹しましょう」といわれ「検査のために開腹するのはまっぴらめんど」と、癌研究会付属病院を紹介され、運び込まれた。

精密検査を行うと、腸が腸に潜り込む腸重積症が盲腸のある回盲部で起きていた。原因は盲腸にできていた癌だった。
緊急手術が行われ、幸い、経過は良好である。

「盲腸癌はあまり多くなく、まれ

なんです。それが原因になっているケースもありますので、しっかりした検査を受けるべきです。」

このほか、右下腹部の痛みとしては、大腸憩室炎、膿瘍、リンパ腫などが考えられる。

右下腹部の痛み
「右下腹部の痛み」といって、一般的にいわれているのは虫垂炎です。小腸が大腸とつながった部分、約70センチを盲腸といいますが、虫垂は盲腸に連れた袋状の部分で、この部分に炎症が起ると急性虫垂炎(盲腸炎)になります。一般的にいわれているのは虫垂炎です。小腸が大腸とつながった部分、約70センチを盲腸といいますが、虫垂は盲腸に連れた袋状の部分で、この部分に炎症が起ると急性虫垂炎(盲腸炎)になります。

多量虫垂炎、婦人科系疾患のケースも
「急性虫垂炎(盲腸炎)は、一般的にいわれているのは虫垂炎です。小腸が大腸とつながった部分、約70センチを盲腸といいますが、虫垂は盲腸に連れた袋状の部分で、この部分に炎症が起ると急性虫垂炎(盲腸炎)になります。」

婦人科系の疾患

さらに、女性の場合は婦人科系の疾患も考えなければならぬ。「卵巣腫瘍や卵巣腫瘍などが考えられます。もちろん卵巣のう腫でも痛みがないケースも多くみられます。」

男性以上に女性はより広範囲に原因を考えるべきである。

Q：左下腹部痛を訴える代表的な病気を説明してください。

A：

大腸憩室炎

「大腸の検査をしていますと、S状結腸に腸の外に袋状に出っぱった憩室ができている人がいます。それも多い人になると鬼の金棒のようにポコポコできています。左下腹部の痛みで多いのは大腸憩室炎です。大腸憩室が炎症を起こし、大腸の内腔が狭くなるとともに腸の壁も硬くなり、それで腸の運動が制限されて便の通過が悪くなり、痛みを発するのです。」

太田副部長は、左下腹部痛で、ま

を挙げた。痛みを訴える場合は炎症が起きており、それを放置しておくと、大腸に穴があき、腹膜炎を引き起こしかねない。

ただ、大腸憩室の多くは健康診断で発見されている。炎症がなければ特に治療の必要はないものの、炎症を引き起こす危険は常にはらんでいるので、薬物治療をしておく方がいいだろう。

このときに、薬剤にばかり頼るのではなく、日常生活をチエックして便秘にならないようにする必要がある。食事に繊維質が不足しないように気をつけ、適度な運動で腸の動きをスムーズにしておくのだ。

「憩室炎は、日本人は上行結腸にできるケースが多いといわれますが、このS状結腸にも多いんです。」

大腸癌

そして、痛みを伴う場合には、大腸憩室のほかに、大腸癌も考えられます。大腸癌といっても、多くできるのは直腸とS状結腸で、両方を合わせて大腸癌の約80%を占めて

いるほどです。癌であれば、痛みがあるからもう進行癌だ、などと悲観的に考える必要はありません。早期のケースもあります。悲観する前に前向きな行動です。」

これらに共通した症状は左下腹部の痛みのみならず、便がスムーズに肛門に向かって流れない状態を伴っている。

そして、癌といった悪性疾患のほか腸脂肪織炎や虚血性腸疾患なども考えられる。

腸脂肪織炎

「腸脂肪織炎は大腸の脂肪がコブ状に硬くなり、左下腹部に鈍痛を発します。」

虚血性腸疾患

虚血性腸疾患は大腸への血流不足で栄養失調状態が起き、腸が細くなるために痛みを發します。」

どちらも腸が内容物を先に送ろうと絞るために痛みが生じてくる。このような病氣治療には、まずは消化器内科へ。

左下腹部の痛み

大腸の疾患をいいます。S状結腸の部分を狭くして、その部分に便が溜まりやすくなる状態が起ります。この状態になると、便がスムーズに肛門に向かって流れない状態を伴っている。この状態を「大腸憩室炎」といいます。大腸憩室炎は、大腸の壁に憩室（うみ）ができて、そこに便が溜まり、炎症を起こす病気です。大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。

大腸憩室炎には薬と繊維質の食事を

大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。大腸憩室炎は、大腸の憩室に炎症が起ると、大腸の壁が腫れ、痛みを伴います。

本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。同誌には、健康に関する記事が連載されています。関心がある方は一読をお薦めいたします。

SOD様食品の開発者・丹羽勲負博士のプロフィール

昭和37年、京都大学医学部卒業。医学博士。丹羽免疫研究所所長。土佐清水病院院長。活性酸素とSODの研究を臨床家として国内はもちろん、世界的にも最も早くから（1970年代から）手掛け、この分野の研究の世界的権威。SODなどの生体防御の研究論文が“Blood”を始めとする著名な英文国際医学雑誌に続けて発表され、その数は50編を超えます。国際医学専門誌（Biochemical Pharmacology）への投稿論文の審査員もしています。



国内では、パーチェット病やリウマチ、アトピー性皮膚炎の治療・研究に長年従事し、多くの難病の原因を活性酸素の異常から解明し、これら難病の治療に関して、SOD様作用食品等の低分子抗酸化剤や抗癌剤を自然の植物・穀物より開発し、大きな治療効果を上げています。

一般向けの著書に「激増 活性酸素が死を招く」（日本テレビ刊）、「クスリで病氣は治らない」（みき書房刊）、「アトピーがぐんぐん良くなる本」（日本テレビ刊）などがあり、大きな反響を得ています。



命と健康のために SODロイヤル

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

用語の解説

大腸憩室炎

大腸の一部が、袋状に外に向かって膨らんだものを大腸憩室という。大腸の中でも、上行結腸と下行結腸、S状結腸にできやすい。
憩室ができる、内容物が入り込み、炎症を起こすことがある。これを大腸憩室炎という。腹痛や腰痛のほかに、まれに腸閉塞や腹膜炎を合併することがある。

虚血性腸炎

腸への血液循環障害によって起きる虚血性腸炎は高齢者に多く見られる特徴がある。
高齢者は程度の差はあれ、動脈硬化が進み、これが小腸や大腸の血行障害を引き起こす。もちろん、ほっておけば狭窄のみならず、腸に穴があき、腹膜炎を起こすので、痛みはそうならないためのサイン。
治療としては、絶食して点滴、抗生物質などで2週間くらいで回復するものもあるが、完治しないで症状固定になるケースもある。

丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

- 「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピー99%治癒の証明」(日本テレビ放送網(株))
- 「丹羽博士の正しい『アトピー』の知識」(廣済堂(株))
- 「SOD製剤が癌治療に革命を起こす」(廣済堂(株))
- 「クスリで病気は治らない」(みき書房(株))
- 「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂(株))



バックナンバーについて
日本SOD研究会では、これまでに発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。
ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会へまでご連絡ください。

SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。
SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

お問い合わせ先

製造・発売元
株式会社フジ流通システム
埼玉県富士見市鶴馬3489-1